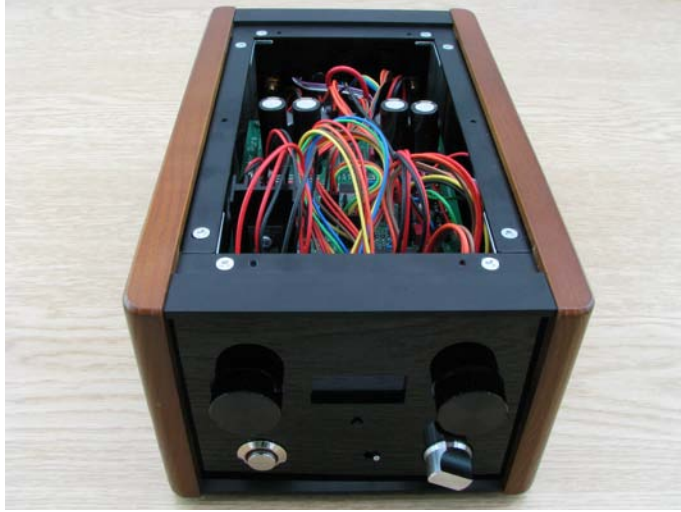


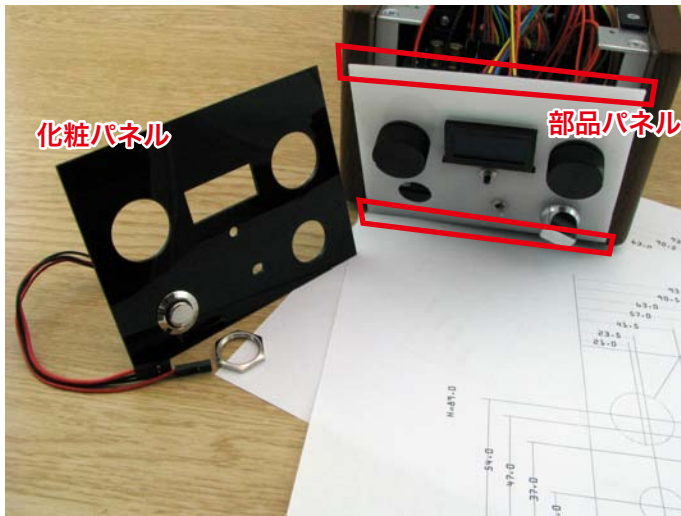
TAS5709フルデジタルオーディオパワーアンプキット社内モニター製作レポート



【ケースと収納の様子】

タカチ電機工業製サイドウッドケース「WO99-12-23B」を採用、底面に AC アダプタ「WD-19320」、スペーサを立てて上部にアンプ基板を配置。

AC アダプタの DC ライン側は 2.1φ プラグ部を切り落とし、基板に直付けとしました。



【フロントパネル構造】

切り口を美しく仕上げるために 3D NC 機による穴あけに挑戦しました。NC 機の切削能力に合わせ、アルミパネルは使わず 2mm 厚の亚克力板に差し替え、部品パネルと化粧パネルの 2 枚構成としました。

サイドウッドケース「WO99-12-23B」のフロントパネル固定用溝はアルミパネル厚 1.6mm に合わせているため、2mm 厚の亚克力板の天地数ミリは 1.6mm 厚になるよう加工する必要があります。(左写真赤枠部分)



【フロントパネルデザイン】

各ファンクションをシンメトリックに配置しました。多少でも高級感を出すためバランスとボリュームはサトーパーツ製高級ツマミに、電源スイッチは照光式メタルプッシュスイッチに置換え、あらたに追加した光入力用ロータリスイッチにもサトーパーツ製高級ツマミを使いました。

- ・高級ツマミ小 (黒) / K-59-S-B ※商品コード :6BB134
- ・高級ツマミ小 (シルバー) / K-37-S-AG ※商品コード :6BB137
- ・照光式メタルプッシュスイッチ(赤) / LAS2-GQH-11ZE/R/12V/N ※商品コード :95G315



【リアパネルデザイン】

リアパネルは多少の失敗も許される？ので、アルミパネルにドリルで穴あけ→ハンドニブラーとヤスリで仕上げ、といった工程で進めました。キットの標準構成と異なるのは、光コネクタを 2 個増設しているところです。構造 (回路) 的には安価な汎用タイプの 4 回路 3 接点ロータリスイッチを介しているだけです。

- ・ロータリスイッチ / RSL25-1-4-3 ※商品コード :3CF139
- (注) ロータリスイッチの軸が長いのでツマミの位置が出っ張り過ぎないようにカットする必要性がありました。

■使用部品メモ

【パワーアンプ】

B1R411 TAS5709 フルデジタルオーディオパワーアンプ [アンバー] / D_5709kit-EBMB
47H31E 共立オリジナル AC アダプタ DC19V 3.2A[R 指] / WD-19320

【追加部品】

6BB134	高級ツマミ小 (黒) [R 指] / K-59-S-B	×2 個
6BB137	高級ツマミ小 (シルバー) / K-37-S-AG	×1 個
95G315	照光式メタルプッシュスイッチ (赤) [R 指] / LAS2-GQH-11ZE/R/12V/N	×1 個
3CF139	ロータリスイッチ [R 指] / RSL25-1-4-3	×1 個
B9G312	WO 型サイドウッドケース (ブラック / 放熱穴無) [R 指] / WO99-12-23B	×1 個

※追加部品購入先

eleshop.jp → 部品一覧へのリンク

(<http://eleshop.jp/shop/goods/search.aspx?keyword=5709kitOPT&style=D&search.x=0>)

【ケース加工図面】

次頁に寸法図を掲載。(正確さは追求していませんので参考程度としてください)

ボリューム他、取付け位置の決定は仮組状態の現物から採寸した結果のため誤差があることをご承知おきください。
(実際、取付時にヤスリで微調整しました)

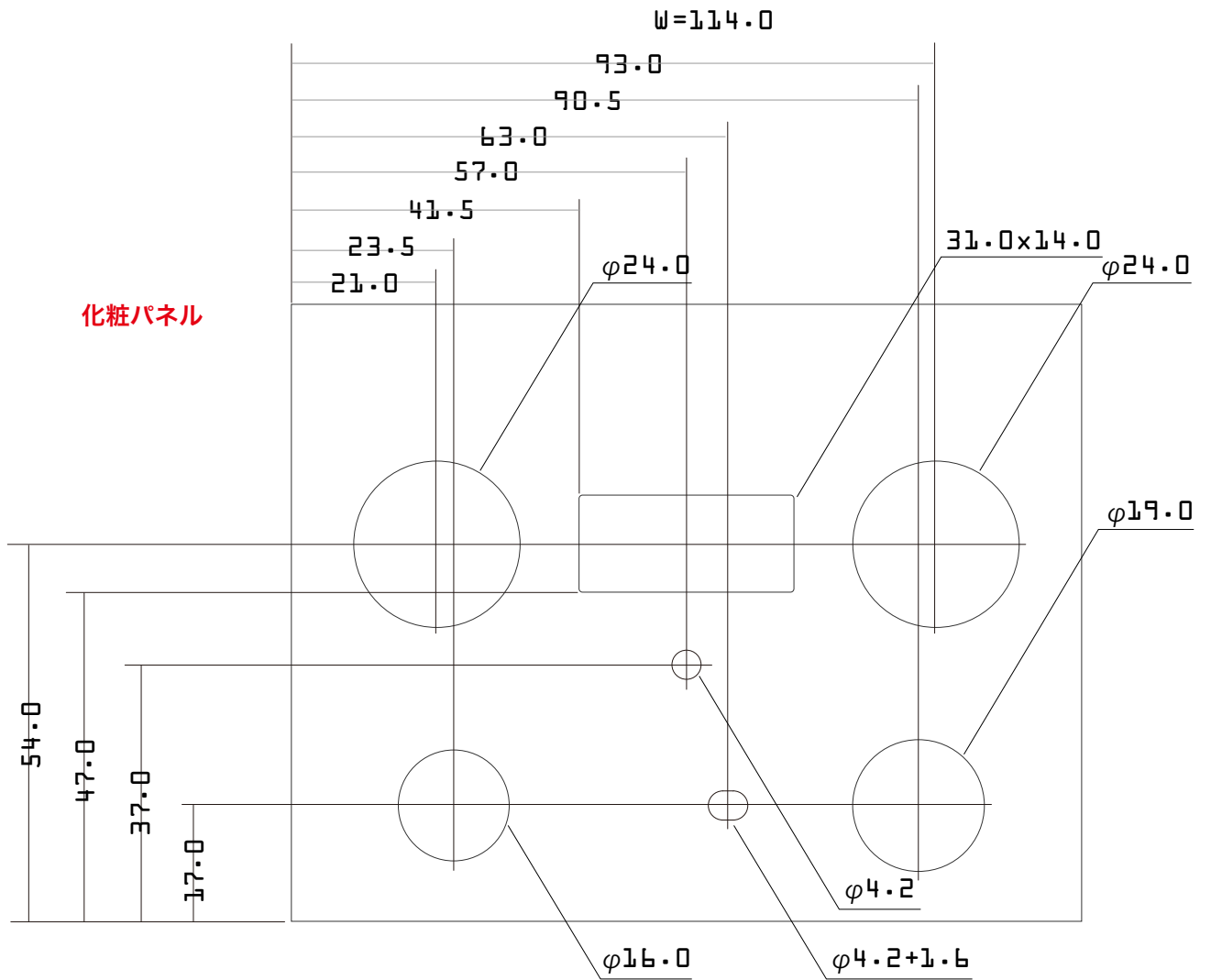
また、アンプキットのモデルによっては液晶モジュールのサイズが異なるので最終的には各自で追加穴あけ加工が必要になります。(D_5709kit-EBWB、D_5709kit-EBGB)

■当資料について

ここで紹介しました事例は「TAS5709 フルデジタルパワーアンプキット」の楽しみ方のひとつとして、参考程度にご覧いただくことを目的に制作しています。

当資料に記載以上の詳細な加工方法、寸法図、追加回路等について、個別のご質問にはお答えできませんので予めご了承ください。

H=89.0



H=91.0

